

## 令和6年度 第1回大府市児童老人福祉センター等運営委員会会議録（要約）

開催日時	令和6年6月28日（金） 午前10時00分～11時15分
開催場所	大府市立神田児童老人福祉センター
出席委員	名古屋学芸大学ヒューマンケア学部教授 加古 有子、大府市民生児童委員協議会（児童部会長）伊藤 きん子、児童センターファミリークラブ（大府）加藤 雅博、大府市老人クラブ連合会（副会長）花井 静枝、小中学校校長会代表（大東小学校長）上野 忍
事務局	大府市長、健康未来部長、こども若者女性課長、指導保育士、こども支援係長、福祉部高齢障がい支援課長、大府児童老人福祉センター館長、神田児童老人福祉センター館長、神田児童老人福祉センター北崎分館長、北山児童老人福祉センター館長、東山児童老人福祉センター館長、共和西児童老人福祉センター館長、共長児童センター館長、吉田児童老人福祉センター館長、石ヶ瀬児童老人福祉センター館長、子どもステーション所長
欠席	大府市子ども会連絡協議会（副会長 石ヶ瀬学区）立川 陽子
傍聴者	なし

### 1 開会

定刻となりましたので、ただいまから「令和6年度第1回大府市児童老人福祉センター等運営委員会」を開催いたします。本日の司会を務めさせていただきます、こども若者女性課長の三ツ矢と申します。よろしく願いいたします。

この委員会は「大府市児童老人福祉センター等運営委員会規則」にございますように、児童センター及び児童老人福祉センターの運営並びに児童福祉に関する事項について審議をお願いする会議です。本日の会議は、6名の委員のうち、大府市子ども会連絡協議会（副会長 石ヶ瀬学区）立川 陽子様欠席との連絡をいただいております。したがって、本会は委員6名のうち、1名の方がご欠席ですが、過半数のご出席を賜りましたので、この会議は成立しました。会議の時間につきましては、1時間半を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。会議の開催にあたりまして、岡村大府市長からごあいさつを申し上げます。

（市長）

本日はお忙しい中、児童老人福祉センター等運営委員会にお集まりいただきありがとうございます。本市の児童老人福祉センターはおおむね小学校区に1つ設置されており、直営、民営の指定管理施設がそれぞれの特色を活かし運営を行っています。昨年度は新たに室内運動遊具を取り入れたほか、囲碁教室を開催し、囲碁交流会を開催しました。今年度は、昨年度に締結した協定に基づき、長野県の大滝村、木曾町の木材を活用し、大府児童老人福祉センターの浴室を改修して、多世代が交流できる木質空間をつくる予定です。

本日は児童老人福祉センターについて、忌憚のないご意見をいただき、今後の運営に活かしていきたいと思っております。

(こども若者女性課長)

ありがとうございました。続きまして、委嘱状の交付を行います。委員の任期は、令和8年3月31日まででございます。

※市長による委嘱状の交付

ありがとうございました。本年度1回目の会議ですので、自己紹介を簡単に一言ずつ皆様をお願いしたいと思います。

※委員各自、名前および所属を発言

※事務局各自、所属及び名前を述べる

次に、委員の改選に伴い委員長及び副委員長の選出を行います。

大府市児童老人福祉センター等運営委員会規則第3条項に基づき、委員の皆様の互選により決定させていただきます。

自薦・他薦を問わず挙手の上ご発言をお願いいたします。

(委員)

委員長には学識経験のある加古委員を、副委員長には昨年度に引き続き伊藤委員にお願いしたいと思います。

(こども若者女性課長)

ただいま委員から、加古委員及び伊藤委員についてのご推薦がありました。

その他ご意見はございませんか？

他にご意見が無いようですので、お諮りいたします。

加古委員を委員長、伊藤委員を副委員長とすることにご異議はありませんか。

賛成多数により、加古委員が委員長に、伊藤委員が副委員長に選出されました。

それでは、委員長、副委員長からご挨拶をお願いいたします。

(委員長挨拶)

名古屋学芸大学の教授と子どもケアセンターのセンター長を務めています。子どもケアセンターは日進市の子育て支援センターの一つで、お役に立てることがあるかもしれないと思います。みなさまのご協力をいただきながら精一杯努めてまいりますので、よろしくをお願いいたします。

(副委員長挨拶)

民生児童委員を務めての5期目となり、少しずついろいろなことが分かってきていると感じています。みなさまのお力をお借りして一生懸命努めてまいりますので、よろしくをお願いいたします。

(こども若者女性課長)

ありがとうございました。

ここで、市長と部長は他に公務がございますので退席させていただきます。

それでは、規則第5条第1項に基づき、以降の議事の進行は議長である委員長に行っていただきます。よろしくをお願いいたします。

## 2 協議

(1) 「令和5年度活動実績と令和6年度活動計画について」

【資料1-1】【資料1-2】

ア 神田児童老人福祉センター館長よりパワーポイントで説明

### ○質疑応答

(委員長)

ボーンレンド遊具は今年度各施設3週間ずつの巡回になっているがいずれは常設になりますか。

(事務局)

スペースが確保できないため、常設については未定です。とても人気があり楽しい遊具なので、まずはみなさまにこういう遊具があるということ、楽しさを知っていただきたいと思っています。

(委員)

いろいろな活動があり、児童健全育成のために遊ぶ場所、学習の場所として、多くのことを担ってくれていることが分かりました。小学校は部活動も無くなり、授業後は家に帰っており、その後どのようにしているのかと思うことがありますが、こういう場が各地域にあるのは良いことだと感じました。参加状況や延べ人数はどのようになっていますか。

(事務局)

資料の第1回運営委員会の実績4ページに人数について記載しています。

(委員)

延べ人数なので、同じこどもが利用しているということですか。

(事務局)

はい。

(委員)

どうい子たちが利用していますか。

(事務局)

概ね地域の子が利用していると思います。

(委員)

こども家庭相談で生活習慣の相談とありますが、どのような内容ですか。

(事務局)

主に生活リズムの相談が多く、朝起きられない、昼寝ができないなどの睡眠のリズムや、園に入園するまでにおむつを取りたいが、なかなかできないなどの排泄習慣についての相談を受けています。

(委員)

子ども会活動に対し、どのような支援をしていますか。また、無くなった子ども会はありますか。

(事務局)

単子ごとに活動しているが、こどもの参加人数が減ったり、吸収合併した単子があるということを聞いています。子ども会の数が減ってしまっている中でも盛り上げていけるように児童センターで役員の支援をしています。

(委員)

卓球の活動でお世話になっています。長寿会は学校とは昔の遊びや餅つきなどで交流がありましたが、コロナ感染拡大対策以降、今は無くなってしまいました。囲碁などで高齢者と交流があるそうですが、各地区でどれくらいこどもたちとの交流がありますか。

(事務局)

各センターごとで行事を行っているため、取り組みは異なっていますが、焼きいも会を行っているところもあります。神田児童老人福祉センターでは高齢者の趣味のクラブが午後の時には小学生と一緒に遊べるチャレンジゲームを行い、日常的に遊べる機会を設けています。またセンターまつりでボランティアをしてもらい交流をしています。

## (2) 「令和5年度活動実績と令和6年度活動計画について」

【資料2】

ア 東山児童老人福祉センター館長よりパワーポイントで説明

○質疑応答

(委員)

音楽に関する事業が多いのは理由がありますか。

(事務局)

東山児童老人福祉センターの指定管理業務をしている NPO 法人みらいっこは、職員、保育士が音楽を通しての子育て支援に力を入れているため、リトミックやバイオリンに関する事業を多く実施しています。

(委員)

大府市はバイオリンを学校でも体験活動をしています。さらに続けたい、学びたいと思う子もいるため、良い取り組みだと思えます。

(委員長)

受講料や材料費が必要な講座や事業はありますか。

(事務局)

東山児童老人福祉センターではバイオリンは無料で触れることができます。一日体験は500円、3か月の体験は5,000円で実施しています。

(事務局)

児童(老人福祉)センターは基本的には材料費はいただくが、講座は無料となっています。東山児童老人福祉センターは指定管理であるため、独自の取組として実施しています。

(委員長)

講師を頼む際に謝礼は発生していますか。

(事務局)

講師料の予算に応じて、ボランティア謝礼や講師謝礼をお渡ししています。

(3)「令和5年度大府市子育て支援の活動紹介と令和6年度活動計画について」

【資料3-1】【資料3-2】【資料3-3】

ア 子どもステーション所長よりパワーポイントで説明

○質疑応答

(委員)

オンライン相談はどのような形で行っていますか。

(事務局)

ZOOMを使用しています。

(委員)

顔を合わせるのに抵抗がある方もいるので、県ではライン相談をしています。

また、ファミリーサポートの援助会員が少ないという課題があるようですが、お子様を預かることが心配なため、会員とならない方もいると思います。活動に対して保険などは入っていますか。

(事務局)

市が負担し、保険に加入しています。

(委員)

募集の時に保険について伝えると良いと思います。その他に理由はありますか。

(事務局)

依頼会員(援助してほしい会員)が多いのに対し、援助会員の成り手が少ないことです。援助会員は、お子さんが手を離れた後、恩返しをしたいという方が登録することが多いです。

(委員)

これだけ少ないと運営は大丈夫でしょうか。

(事務局)

依頼会員の中には、登録のみの方もたくさんいるため、運営に支障はありません。

(委員長)

日進市の職員の方が子どもステーションに研修に行って感動したと話していました。他の自治体からの研修に参加することはありますか。

(事務局)

日進市職員の方は自身で課の方に相談して受け入れさせていただきましたが、研修という形で来られる方は今のところいません。

(委員長)

いろいろな相談事があると思いますが、臨床心理士が対応することはありますか。

(事務局)

利用者支援事業は、看護師、保健師、心理の資格を持つ地域子育て相談員が対応していますが、内容によっては臨床心理士が対応しています。親子育成支援事業では臨床心理士がいるため、発達相談にも応じています。

(委員)

パパ交流会はとても良い取組だと思います。自宅裏に公園があり、保育園のお迎え後に来ている親子がいますが、母親同士はおしゃべりをしています。父親はスマホを触ったりしている様子が見られます。父親同士が交流できる場があることはとても良いと思います。

(事務局)

コロナ禍前のパパ交流会は妻も一緒に参加していたが、コロナ禍で父親と子どもの参加にしたところ、以前と違い父親がのびのびして、困りごとや趣味について聞いたりするなど父親同士で語り合っている様子が見られます。

(委員長)

子育てネットワークの会議で父親の参加についての話がありました。以前はパパ交流会を妻が申し込み参加する方が多かったのが、最近ではどこの市町村でも父親自ら申し込みされることが増えてきているとのことでした。

利用人数は、全体的にコロナ禍前の水準に戻っていますか。

(事務局)

少しずつ人数は戻ってきていますが、コロナ禍前の人数には戻っていません。また、以前は2・3歳児の利用が多かったのに対し、今は早く入園するお子さんが増えたり、幼稚園のプレスクールに週1・2回参加するお子さんが増え、利用するお子さんの年齢は0・1歳児が多く、2歳児がとても少なくなっています。

(委員長)

私の子も小さい頃はセンターで遊ばせてもらったり、発明クラブにも入ったりしていました。様々なところで子育てしていただいたと思っています。

すべての協議事項を終了しました。事務局にお返ししたいと存じます。

### 3 その他

事務連絡（こども若者女性課長）

次回の日程について説明。

7月分の児童センターだよりを封筒に入れてお配りしています。児童センターだよりは各センターでの毎月の行事予定について載せている物ですが、来月分以降のセンターだよりにつきましては、本市ウェブサイトに掲載しておりますのでそちらをご参照いただければと思います。

相手方登録申請書、個人番号届出書の提出の依頼、報酬対象の委員の方への振込の説明。